

きやつぶ おんせん



2013.11.16. SATURDAY

開場 16:30

開演 17:00 (終演予定
22:00)



きやつぶおんせん(CAP音泉)

これまでのC.A.P.の活動にご縁のあった、そしてだいたい関西で活動している面白い音楽家18人が出演。

「18人も出演したら音楽祭ですね、HIROSさん」

「なんだな、たすかにいろいろな音楽が聴けそうだなっす。微妙な人数だけんでもふつうのコンサートよりはえっぱい出演者ができるですよ。んで、ワタスが考えつど、音楽的方針のまるで無いこのもよおすは、音楽の混浴だっす。なんだから、『きやつぶおんせん』と呼ぶことにすんべ！」



※順不同・組合せ不定



石上和也 (ラップトップ)

1972年大阪生まれ。2012年12月実験音楽雑誌「音人」発行。2012年3月「神戸電子音響音楽祭」主催。最近リリースが減ってはきているが、自主レーベル[NEUS-318]を主宰。近々リリースを予定というか希望している。



岩本象一／Q2ペリカンズ (パークッション)

様々なグループやユニットで即興を主軸にドラムや打楽器、ガムランなどを演奏している岡山在住の音楽家。岡山でジャワガムラン教室を開く一方、様々な教育機関でワークショップや公演をおこなっている。



上坂朋也 (タブラー)

福井県出身。立命館大学在学。16歳からパークッションを始める。以後、Susanta Banerjee氏にタブラーを師事、パークッションを中村岳氏に師事する。弟の上坂佑との打楽器DUO、Carimelo Music Poolを活動拠点としている。<https://www.facebook.com/tomoya.uesaka?ref=ts>



大橋一慶 (タブラー)

2003年神戸在住のタブラー奏者クル・ブーシャシ・パールガヴァ氏にタブラーを師事。北インドにあるヒンドゥー教の聖地「ゴーバーレダナム巡礼」をコンプリートした数少ない日本人の1人。北インド古典音楽をメインに日本各地で演奏活動を展開する。



金子鉄心／ふいごっち (イーリアンパイプス、ティンホイッスル)

'80年代、某コミックバンドのサックス奏者としてメジャーデビュー。'90年代音楽的リハビリもかねてゲルト音楽に没頭する。現在、イーリアンパイプス (アイルランドのバグパイプ) をはじめとする得体のいれない管楽器を抱えてあちこち出没中。欧洲大衆音楽座<ふいござ>主宰。



鳥嶋佐織 (テルミン)

2001年よりテルミン演奏活動を開始。菊池誠(gt,theremin)とのツインテルミンユニット『andromo』での活動のほか、2007年から『おおつか静流&asian wings』のメンバーとして各地で演奏、2008年、2013年にはノルウェーで公演。ジャカルを選ばない多彩な演奏活動に取り組み、多数の音楽家と共に活動を重ねている。



小島剛 (ラップトップ)

95年頃よりコンピュータを使った音楽活動を開始。即興やノイズ音楽を中心、国内外での演奏活動多数。現在は往年の名ソフト "M" を使っての演奏が多い。またパンジョーも時々弾く。



シモダノヒササ／Q2ペリカンズ (ギター、うた、Eベース)

1979年、アルファレコードよりアルバム「ムーンダンサー」でレコードデビュー。Eベースを担当。その後、神戸で全然方向の違うポップなうたを作りCDも制作。C.A.P.の事務局も運営中。



中尾幸介 (タブラー)

1984年大阪市に生まれる。2004年アジアを放浪中、インドの打楽器タブラーに出会い。2007年よりヨガカタにて、才天的なリズム感覚と知識を兼ね備えたタブラー奏者ビップ・バッタチャリヤ氏から学び始める。日本とインドを行き来しながらタブラー演説の毎日を送り、インド音楽をはじめ様々なアーティストと活動中!!! 現在京都府宇治市在住。



2013年11月16日(土)

開場 16:30 開演 17:00 (終演予定 22:00)

前売 ¥2,500 (会員 ¥2,000) 当日 ¥3,000



【予約・問合せ】

C.A.P.事務局(10:00-19:00／月曜休み)

T E L 078-222-1003

MAIL info@cap-kobe.com

WEB <http://cap-kobe.com/>



【会場への問合せ】※当日のみ応答できます

T E L 078-959-7707

CAP CLUB Q2

神戸市中央区新港町4-3 上屋Q2



インド音楽でご存知の HIROS 師匠と C.A.P. のスタッフと一緒に頭をひねり、考えがまとまらないうちにまとまってしまったこの企画、お客様も音楽家も一緒に楽しんでもらいたい一心で開催します。関西の気鋭若手タブラー奏者 6人も登場してときどきチャチャを入れるので、ちらっとインドの香りもします。出演者にはいろんな組み合わせで演奏してもらったり、CD やらグッズやら持って来てもらって音楽マーケットも開いたり、おなかもすくでしょう! 老祥記の豚まんや HIROS カレー、スリットバーでは世界のビールも準備して待ってます。みんなで愉しく過ごしましょう。

祝丸／黒拍子 (和太鼓)

佐渡島の和太鼓集団「鼓童」に入所し 2 年間の研修を修める。その後'04年に「黒拍子」を結成し、国内外の多様なアーティストと共同制作を行い独自の表現方法を探求している。'12年より「打語り」という手法で展開する一人芝居「祝丸劇場」を開始。

HACO (電子楽器+声)

ヴォーカリスト、エレクトロニクス奏者、作詞作曲家、ザウンドアーティスト。80年代に音響芸術を学び、After Dinnerを結成すると共に作品が国際的に評価される。近年、声と電子楽器による演奏に加え、音響装置を用いた独自のパフォーマンスを展開。透明感のある歌声と音響技術が融合した実験的ボップ感覚をつめこんだ楽曲によって、世界中にファンをもつ。これまでにソロや Hoohii 等の CD 発売多数、海外公演も数え切れない。<http://hacohaco.net/haco/home.html>

HIROS (全体構成、カレー調理、狂言まわし、たまにバーンスリーかも)

1950年、山形県生まれ。1981-84年にインドのベナレス・ヒンドゥー大学音楽学部を理系で留学し、インド音楽理論を研究。大学のかたわら、バーンスリー(横笛)、ヴォーカルを習う。聲明グループ<七聲会>の海外公演、さまざまな演奏会の企画制作、インド音楽理論書の翻訳出版などを通じてアジア各国及び日本のパフォーミングアーツ紹介の活動を続けている。<http://sound.jp/tengaku/>

藤沢祥衣／ふいごっち (アコーディオン)

重さ12kg。そんな楽器をひょいと担ぎあげ、さまざまな場所へでかけます。世界に分散するアコーディオン音楽を、すべて聴いてみたい。バンドは轟座、Tarantella Band ODERICO、グリーンパレード、その他多数。

藤澤バヤン (タブラー)

京都のタブラー奏者。インドの音楽と舞踊の伴奏者として活動する他、ジャンルを問わず様々なアーティストと不定期活動を行なっている。また、京都でワールドミュージック音楽イベントを定期的に開いている。京都在住。

松本こうすけ (タブラー)

インド滞在中に打楽器タブラーに魅了され、2004年よりバーナースにて Kishor Mishra に師事し以後通い続ける。のちにコレカタにて Subhankar Banerjee の演奏に感銘を受け、2008年から師事。日本では U-zhaan, Ty Burhoe から指導を受けつつ演奏活動をしている。京都在住。

宮本玲／Q2ペリカンズ (バイオリン、うた)

CD「おまえの耳は」ではタイトル曲、他をうたい、魅惑の歌声を披露。亀岡在住のハンディをバネにバイオリンではパンピリアなど、別のバンドのサポートでも活躍。

室優哉 (タブラー)

2000年ストリートダンスの講師として活動中に暗黒舞踏とメタルバッカッションに衝撃を受け、インドの打楽器タブラーに転向。現在日本では元 ASA-CHANG 巡礼等様々な活動で話題の鬼・U-zhaan 氏に師事。インドにて Zakir Hussain 氏の弟子で若手期待の星・Aditya Kalyanpur 氏に師事。

丁友美子／Q2ペリカンズ (クラリネット、うた)

どんなキーの曲を渡されても一応なんでも歌ってしまう力持ち。楽器は他にリコーター や鍵盤ハーモニカなども演奏。Q2ペリカンズでは身長は一番小さく、声は一番大きい。大阪在住の涙も多い女。



C.A.P. の活動は、サポートメンバーやフレンズメンバーやみなさまに支えられています。

多くのみなさまのご参加をよろしくお願いします。

予約時に申込み頂ければ、会員料金にてお受けします。

プログラム案内の郵送、他、特典あり。

C.A.P. サポートメンバーシップ

賛助会員制度です。寄付控除証明書の発行もできます。

個人会員費：1口／¥10,000 (1口以上)

法人会員費：1口／¥50,000 (1口以上)

C.A.P. フレンズメンバーシップ

C.A.P. ファンクラブです。

年会費：¥1,000